



オアシス

VOL. 59

◎特集

「女子大学」—
アンコンシヤス・
バイアスからの解放



「女子大学」—— アンコンシヤス・ バイアスからの解放

(アンコンシヤス・バイアス＝無意識の偏見)

お茶の水女子大学は、2020年度から戸籍が「男性」で、自分の性の認識が「女性」であるトランスジェンダーの学生の入学を受け入れることを決定しました。そのニュースを受け、ここにきて、「女子大学の存在意義」について、様々な意見も出ています。入学受け入れの判断に至るまでの経緯から、現在の「女子大学」の意義について、お茶の水女子大学長の室伏きみ子さんにお話をうかがいました。



米国の女子大学の動き

2014年〜2015年頃、優れた人材を送り出している、米国の歴史ある女子大学間で、トランスジェンダーの学生を受け入れるかどうかという議論がありました。その中で、ミルズ、マウン・ト・ホリヨークなどの女子大学がトランスジェンダーの学生の受け入れを決めました。翌年には、さらに多くの女子大学が、受け入れる姿勢を表明しました。これは、米国においてトランスジェンダー女性も女性であるというコンセンサスができてきたからです。

すべての女性の夢の実現を

お茶の水女子大学では、2015年にトランスジェンダー女性から受験について問合せがあったことをきっかけに、2016年から検討を始めました。2017年にはワーキンググループを作り、トランスジェンダーの当事者や研究者からお話を聞いたり、海外の大学の状況について調べたりしました。その結果、すべての女性の夢の実現を目指す「女子大学」である本学が、性自認が「女性」である学生を、女性として受け入れることは自然なことだという結論になりました。

学内の多様性への理解

本学は、昔から学生も教職員も、ジェンダー学を学ぶ環境が整っています。学生は1年生から授業を受ける機会があるため、差別や偏見に対してはしっかりした考えを持っています。トランスジェンダーの学生の受け入れについては、これまで学生や教職員と意見交換してきましたが、反対だという意見は全くありませんでした。受け入れ体制の整備についての質問はありましたが、皆が非常に前向きでした。「自分たちの大学がこのようなことに取り組むのは誇りです」と言ってくれた学生もいました。「このような環境が出来るならば、いつまでもぐずぐずしている必要はない」と、今年7月に記者会見に踏み切ったのです。長い歴史の中で、多様性を大切にするという姿勢を皆が身に着けており、性は男性・女性にはつき

お茶の水女子大学本館



お茶の水女子大学長 室伏きみ子さん
お茶の水女子大学理学部生物学科卒業後、東京大学大学院博士課程修了(医学博士)。1996年お茶の水女子大学理学部教授。理学部長、理事・副学長を経て2015年学長に就任。

日本の女子大学
2017年現在、全国に4年制の(制度上の)女子大学は77校(*)あるとされている。そのうち国立大学は、お茶の水女子大学を含めて2校である。同大学は、明治8(1875)年11月29日に、日本最初の女性のための官立の高等教育機関として設立された。

※武庫川女子大学教育研究所ホームページ「女子大学統計 大学基礎統計」より

り区分できるものではないという理解も早かったということが、トランスジェンダーの学生の受け入れを可能にしたのでしょう。

他の女子大学への広がり

日本の女子大学で初めての決断という取り上げられ方をしましたが、この決定は特別なことではなくて、人の成り立ちから考えるとあたりまえのことでした。日本の多くの女子大学が加盟している女子大学連盟(現在28大学が加盟)の会議でも、トランスジェンダーのことが議題にあがっています。各大学の事情やカラーがあるため、すぐには足並みはそろいませんが、かなりの大学が検討をしているようです。

世界のランキングでみる 日本の女性の状況

日本では、今でも女性が本来の能力を發揮したり、自分の夢を実現したりすることが難しい状況があります。そのため、女子大学が持つ役割はまだまだ大きいと考えています。日本の社会がまだ男女共同参画を実現できていない状況にあることは、様々な指数に表れています。

一次のページのグラフを参照

例えば、経済協力開発機構(OECD)の25〜54歳の女性の就業率ランキングで、日本はOECD加盟の36カ国の中で23位(男性は2位)です。

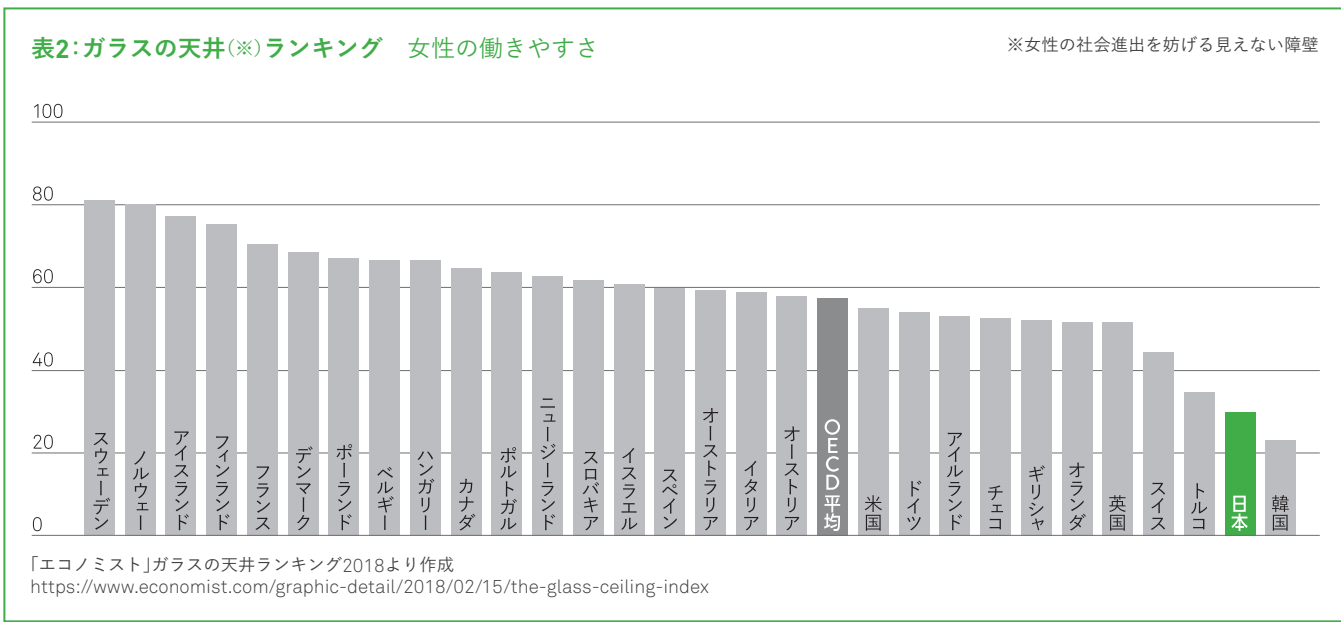
また、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数では110位(2018年)と、先進国として悲しくなる数値です。この指数は、「経済活動への参加と機会」「教育達成」「健康と生存率」「政治的発言力」の4項目を数値化しています。日本は「健康と生存率」はよいのですが、「経済」「教育」「政治」に関して男性との差がとても大きいのです。

「ガラスの天井ランキング」表2

英国の「エコノミスト」誌が、OECD加盟国を対象に「高等教育を受ける機会」「労働参加率」「賃金格差」などの10項目に、さらに男性の育児休暇取得率を加えて調査した「ガラスの天井ランキング」では、日本はなんと29カ国中28位でした。

女性国会議員の割合ランキング「表3」

列国議会同盟(IPU)による世界の女性国会議員の割合ランキングでは、193カ国の調査対象のうち日本は非常に低く、160位です。特に、地方議会には女性がほとんどいない地域もありますし、47都道府県議会や20政令指定都市市議会の議長には女性がいません。この状況ではいつまでも日本は上位に上がって来ないでしょう。



アンコンシャス・バイアスのない場所

このように、女性が活躍できる環境が整備されていない上に、人々の中には「アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)」が存在しています。例えば、社会では「女性は政治に向いていない」、「経済活動をする上で女性には俯瞰力がない」、「女性は理系が苦手」などと言われることがあります。そういった偏見を積極的になくしていかなければなりません。

私は、それが可能なのは女子大学だと思っています。共学の学校では、様々な活動において女性がトップに立つ場面はほとんどありません。小学校、中学校、高等学校、大学を見ても、クラスやクラブ、サークルの「長」が付く役は、未だに多くが男子です。こうして若い女性は、責任を持たなくてよいという状況に置かれ続けるため、リーダーとしての経験が持てず、育成されないのである。

一方、女子大学や女子高では必ず女性が中心に立たなければならず、責任も果たさなければなりません。そのような経験を積み重ねることができると、社会に出て自分の芯を持って活躍できるのだと思います。実際に、お茶の水女子大学の学生は、それぞれが責任を持って様々なことに取り組んでいて、外に出て行っても多様な分野でリーダーとして活躍できる人材が育っています。また、女子大学では、アンコンシャス・バイアスの中で自分の将来をあきらめたり、埋もれてしまう

表3: 女性国会議員の割合ランキング

順位	国名
1	ルワンダ
2	キューバ
3	ポリビア
4	メキシコ
...	...
158	ガンビア
159	ミャンマー
160	日本
161	サモア
162	カタール

2018年11月1日までに各国議会から提供されたデータを元に作成された、列国議会同盟(IPU)の資料より抜粋。
http://archive.ipu.org/wmn-e/classif.htm
193カ国中の国会議員の女性の割合の順位を表している。二院制の国は下院(日本は衆議院)議員の女性の割合である。

ことなく、自分自身の資質や能力を十分に発揮してのびのびと暮らせます。現在のように、政治などの世界でセクハラ発言などが目立つ時代に、女性たちが自立し、自分たちを貶めるような発言に対して毅然としていられるのは大事なことです。

共学化の議論は今ではない

将来について考えてみると、今の若い男性は偏見が少ないので、これが続けば2〜30年後には完全に平等な社会になる可能性があるかもしれません。その時には、女子大学として残るかどうかをその時代の人たちに考えてもらえればよいのです。ただ現状では共学化しても何一つよいことはなく、女子大学として、社会で活躍し、リーダーとして社会をけん引できる様な女性を育てていくという重要な意義があることを、社会の皆さんにも理解して頂きたいと思っています。

お知らせ

平成30年度港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定証交付式 & シンポジウムを開催しました。

港区では、仕事と家庭の両立支援や男女がともに働きやすい職場の実現に向けて、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる中小企業を認定し、その取組みを応援しています。

この度、平成30年度港区ワーク・ライフ・バランス推進企業が決定しましたので、港区長から「港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定証」を交付しました。また、シンポジウムも同日開催しました。



新規企業



更新企業

日時:平成30年11月15日(木) 14時-17時

場所:港区立男女平等参画センター リーブラホール

[第1部] 平成30年度港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定証交付式

[第2部] シンポジウム

基調講演:関根紀子氏(サイボウズ株式会社執行役員カスタマー本部長)

取組紹介:田中美和氏(株式会社Waris共同代表)、

菅野聖子氏(資生堂ジャパン株式会社人事部)

◎平成30年度港区ワーク・ライフ・バランス推進企業 新規認定企業

[認定期間]平成30年10月1日から3年間

企業名	認定分野			
	子育て支援	地域活動支援	介護支援	働きやすい職場環境づくり
株式会社ソフト技研	○			○
株式会社クレヴァシステムズ	○	○	○	○
株式会社グリーンフィールド・オーバーシーズ・アシスタンス	○			○
テクダイヤ株式会社	○			○
加藤商事株式会社赤坂営業所	○			○
扶桑建設株式会社新橋支店				○
CMI 株式会社	○			○
日本アドックス株式会社		○		○
株式会社富士通システムズウェブテクノロジー	○	○		○
株式会社東京企画 (CM 総合研究所)	○		○	○
産業保健サービス株式会社	○			○
SB クリエイティブ株式会社	○			○
株式会社エグゼクティブプロテクション	○	○		○
株式会社ブレイクスルー・ネットワーク	○			○
株式会社スイタ情報システム	○			○
店舗流通ネット株式会社	○			○
社会保険労務士法人東京労務	○	○		○
株式会社レジスト	○		○	○
大島椿株式会社	○		○	○
三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社	○			○

ブックレビュー
BOOK REVIEW

リーブラの図書資料室に所蔵する約15,000点以上の資料の中から、お勧めの本を紹介。リーブラの図書は港区図書館カードで借りることができます。ぜひご利用ください。

『愛と家事』

太田明日香著 「創元社」



「家族をつくることに失敗した」という言葉から始まる、広い意味での「家族」をテーマにした自伝的なエッセイ集。若いころの結婚の失敗、再婚を経て、著者が自分と家族の関係を淡々と思い出し、見つめなおし、語りながら心を整理している様子を疑似体験している感覚になるかもしれません。

かつてアンチフェミニズムに共感していたという著者は、フェミニストを「性別に関係なしに人を尊重する人のこと」と定義しつつ、自身はフェミニストだと思っていて語ります。「愛」と「家族」について語る著者の言葉には、女性も男性も多くの方が共感するのではないのでしょうか。

(協力委員:尾崎綱賀)

『アカデミック・ハラスメントの解決―大学の常識を問い直す』

北仲千里・横山美栄子著 「寿郎社」



アカデミック・ハラスメント(アカハラ)も、他のハラスメントと同様に、昔から起きていた行為が、今ようやくハラスメントとして認識されてきました。特にアカハラは大学や研究室という閉鎖的な中で起きることから、社会からずれた常識がつくられやすく、外からも見えにくかったのかもしれませんが。

本書は、大学でハラスメントの相談室を担当してきた二人の著者が、アカハラを場面ごとに分類した上で可視化し、どう解決・防止すればよいかを提示しています。学生や教員がともに、心から信頼し尊敬し合い、大学という教育や研究の空間を享受できるようにという著者の熱意が伝わります。

(リーブラ職員)

連載 映画から読む

ジェンダー

Gender

木村朗子(きむらさえこ)
[津田塾大学 国際関係学科教授]

第三回 社会を変えたデモ

『BPM ビート・パー・ミニット』

[2018年公開]

ロバン・カンピヨ監督

発売・販売元:TCエンタテインメント
DVD発売中(3,800円+税)
©Celine Nieszawer

このところセクシュアルマイノリティの歴史的運動を描いた映画が相次いで出されている。2015年には、現在のプライドパレードのはじまりとなった1969年ストーンウォール事件を描いた映画、『ストーンウォール』(ローランド・エメリッヒ監督)が公開され、2017年には90年代初頭のエイズをめぐる展開したアクト・アップ・パリの運動を描いた本作がカンヌ映画祭のグランプリを受賞する。同性婚を認める国や自治体が増えてきたなかで、現在のLGBTの権利は先人達の運動によってもたらされたことをあらためて振り返らせるものとなった。

「アクト・アップ・パリ」は1987年にニューヨークで発足した運動に由来し、エイズをめぐる権利要求運動と差別と偏見に対する啓発活動を行っている団体である。物語は、メンバーが次々とエイズで倒れていくなかで、会社の利益のためになかなか新薬の発表をしない製薬会社

に開示を求めてアピール行動を行うところからはじまる。薬害エイズの訴訟の話もある。高校で適切な性教育が行われていないとみるやゲリラ的に避妊具を配り、感染経路を説明したりもする。くり返し描かれるのはメンバーのミーティングの様子である。運動はすべて話し合いによって決議され、非暴力的に行おうとしていることがよくわかる。デモとは決して無秩序な反乱などではない。

LGB (レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル)は性的指向(セクシュアル・オリエンテーション)の問題だが、どういうわけか性的「嗜好」と間違われるケースがある。それが「嗜好」などという趣味の問題などでは全くないことは、本作をみれば痛いほどわかる。エイズがまだ死の病であったころ、身近な友人や大切な恋人を失うなかで懸命に生きて、愛した人たちの姿がここには刻まれているのだ。

お知らせ

◎シンポジウム「チームの力を引き出す！ワーク・ライフ・バランス最前線」

ワーク・ライフ・バランスという言葉はすでに一般的に知られていますが、どれくらいの企業が実際に実現できているのでしょうか。今回は規模の異なる3社のリーダーにご登壇いただきました。

サイボウズ株式会社の関根紀子氏による基調講演では、「サイボウズのワークスタイル改革」と題し、社員一人ひとりにあった多様な働き方に対応する、先進的な制度の導入についてのお話がありました。続いて、株式会社Warisの田中美和氏と資生堂ジャパン株式会社の菅野聖子氏から、育児や家事と仕事との両立を目指した柔軟な働き方を支える取組を紹介していただいた後、3人で対談されました。参加者からは「自社に持ち帰り、活かしていきたい」といった声が聞かれました。

写真上段:

左 サイボウズ株式会社 関根紀子氏

写真下段:

右 資生堂ジャパン株式会社 菅野聖子氏

株式会社Waris 田中美和氏



リーブラ相談室 心のサポートルーム 無料

電話相談

家族、仕事、生き方、働き方、夫婦・親子・友人などの人間関係、離婚、DV(ドメスティック・バイオレンス)、デートDV、LGBT、ハラスメントなど… どのようなご相談も受け付けています。

面接相談

●相談の秘密は固く守りますので、安心してご相談ください。

法律相談

●カウンセラーがあなたといっしょに考えていきます。
●弁護士による法律相談もあります。(面接相談・月1回)

ご相談・ご予約は

港区立男女平等参画センター リーブラ相談室 [専用電話] **03-3456-5771**

月曜日から土曜日まで開室!
火曜日・金曜日は、夜も開室しています。

	月	火	水	木	金	土
午前10時 — 午後4時	●	●	●	●	●	●
午後6時 — 午後9時		●			●	

*日曜・年末年始・臨時休館日を除き、祝日も開室。

*相談は無料です。まずはお電話ください。

*面接相談と法律相談はご予約ください。

◎今号の表紙



汐留西公園

汐留西地区内の、イタリアをイメージして作られた街「汐留シオサイト5区イタリア街」の中央にあり、街の広場として利用されています。また、公園の広場内に、転車台の最下段の切石を輪郭部に使用したデザインが、再現されています。

港区男女平等参画情報誌「OASIS オアシス」第59号
平成30年(2018年)12月発行(年4回発行)

発行: 港区立男女平等参画センター指定管理者
パーソルテンプスタッフ株式会社
〒105-0023 東京都港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦

協力委員: 尾崎綱賀

デザイン: 鈴木清直 イラスト: 別府由実子(表紙)

港区立男女平等参画センター「リーブラ」

〒105-0023 港区芝浦1-16-1 みなとパーク芝浦2階
Tel.03-3456-4149 Fax.03-3456-1254
▶ <http://www.minatolibra.jp> ▶ Twitter:@minato_libra

アクセス

- JR「田町駅」東口(芝浦口) 徒歩5分
- 地下鉄浅草線・三田線「三田駅」A6出口 徒歩6分
- ちいばす ズルート・芝浦港南ルート(品川駅港南口行)「みなとパーク芝浦」徒歩0分
芝浦港南ルート(田町駅東口行)「芝浦一丁目」徒歩4分
- 都営バス(田92・99)「田町駅東口」徒歩7分

